

貸借対照表

2022 年 2 月 28 日 現在

株式会社 インフォウェイブ

(単位:千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
【流動資産】	[19,464]	【流動負債】	[4,470]
現金及び預金	7,045	未払金	1,555
売掛金	6,614	未払費用	1,455
電子記録債権	5,397	未払法人税等	71
その他	407	未払消費税等	1,224
【固定資産】	[1,427]	その他	164
(有形固定資産)	866	【固定負債】	[24,525]
リース資産	866	長期借入金	24,072
その他	0	リース債務	453
(投資その他の資産)	561	負債合計	28,996
敷金	551	(純資産の部)	
その他	10	【株主資本】	[Δ 8,104]
		資本金	10,000
		利益剰余金	Δ 18,104
		別途積立金	2,000
		その他利益剰余金	Δ 20,104
		繰越利益剰余金	Δ 20,104
		純資産合計	Δ 8,104
資産合計	20,891	負債・純資産合計	20,891

(注) 記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

【 重要な会計方針 】

1 . 資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法による原価法によっております。

2 . 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産

定率法(但し、平成 10 年 4 月 1 日以降に取得した建物(建物付属設備を除く)
及び平成 28 年 4 月 1 日以降に取得した建物付属設備並びに構築物については
定額法) により計上しております。

工具、器具及び備品 4 年

(2) リース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法により計上して
おります。

3 . 収益及び費用の計上基準

当社の顧客との契約から生じる収益に関する主要な事業における主な内容及び当該履行義務を充足する
通常の時点(収益を認識する通常の時点) は以下のとおりであります。

請負契約

受注制作の検査装置及びソフトウェアについては、主に顧客との間で請負契約を締結しており、主な履
行義務は顧客の仕様に基づく製品の製造販売であります。

当該製品の製造販売については、顧客の利用目的に応じたカスタマイズが含まれており、義務を履行す
るにつれて別の用途に転用することができない資産が生じ、進捗した部分に対する対価を収受する強制力
のある権利を有するものの、取引開始日から完全に履行義務を充足すると見込まれる時点までの期間がご
く短いため、完全に履行義務を充足した時点で収益を認識しております。

4 . その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式を採用しております。

【 会計方針の変更に関する注記 】

収益認識に関する会計基準等の適用

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第 29 号 2020 年 3 月 31 日。以下「収益認識会計基準」
という。) 等を 2022 年 1 月 1 日から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当
該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第 84 項ただし書きに定める経過的な取扱いに
従っておりますが、当事業年度の財政状態及び経営成績に与える影響はありません。また、繰越利益剰余
金の期首残高に与える影響はありません。

【 収益認識に関する注記 】

顧客との契約から生じる収益を理解するための基礎となる情報については、「【重要な会計方針】3 収益及び費用の計上基準」に記載のとおりです。

【 株主資本等変動計算書に関する注記 】

発行済株式の種類及び総数

株式の種類	前事業年度末 株式数	当事業年度 増加株式数	当事業年度 減少株式数	当事業年度末 株式数
普通株式	200 株	- 株	- 株	200 株

【 当期純損益金額 】

当期純損失 2,674 千円